

平成 27 年 10 月 23 日  
新潟市土木部土木総務課

## 新潟市橋梁アセットマネジメント検討委員会 設立趣意書

### 設立の背景

新潟市で管理する約 4,100 の橋梁は、その多くが高度経済成長期に建設されていることから、建設後 50 年を経過した高齢化橋梁の割合が、平成 25 年で約 14% だったのが、20 年後の平成 45 年では約 55% へ増加することが予想されています。

高齢化橋梁の増加は、すなわち橋梁の維持管理費用の増大を示しており、予防的処置を基本とした、「計画的」な維持管理の実施が今後も不可欠と考えられます。本市では、平成 22 年度に「新潟市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な維持・補修による橋梁の長寿命化、維持管理費用の平準化に向け取り組んでまいりました。

一方、平成 24 年 12 月笹子トンネル天井板落下事故以降、社会インフラ施設の点検が重要視され、平成 26 年度には道路法改正により、橋長 2m 以上の小規模橋梁でも近接目視点検が義務付けられたことや、平成 27 年 7 月に策定された「新潟市財産経営推進計画（インフラ資産マネジメント編）」の基本的な考え方を踏まえ、平成 22 年度策定の「新潟市長寿命化修繕計画」を見直し、今後の橋梁維持管理のあり方を、更に戦略的に高める必要が生じたことから、本委員会を設立することとなりました。

### 委員会設置の目的

本委員会の目的は、下記に示す検討課題に対し、幅広い専門的な意見を頂き反映させるとともに、実施段階においても、その実施状況に対しての意見を頂き改善を施すことなどを目的としております。

- ① 橋梁の点検・調査、設計、施工等の発注方式における包括的発注や、新たな担い手確保など。
- ② 平成 22 年度策定の新潟市橋梁長寿命化修繕計画をコスト対策、庁内体制、システムの見直しなど。

### 公益社団法人「土木学会」の支援

この取り組みは、公益社団法人「土木学会」に設置された「アセットマネジメント実装のための実践研究委員会」（委員長：小澤一雅土木学会技術推進機構上席研究員）から、モデル事業としてご支援頂くことになっています。